

# 避難に関する心得&非常時持ち出し品

## 避難情報の種類と行動

災害の発生時等において、「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」または「避難指示（緊急）」を発令する場合があります。

避難場所（町が指定する指定緊急避難場所・指定避難所）への避難が一般的ですが、外が危険な場合には、無理をせず自宅の2階や近くの高い建物に避難することが適切な場合もあります。

また、いざという時の避難行動を速やかに判断するために、日ごろからハザードマップなどを活用して危険箇所や避難場所をチェックしておきましょう。

避難情報種類	避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告	避難指示（緊急）
いつ発令されるの？	避難勧告や避難指示（緊急）を発令することが予想される場合	災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合	災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合
発令されたらどうすればいいの？	<input type="checkbox"/> 避難に時間を要する人（高齢者、障がい者、乳幼児など）とご家族や支援する方は避難を始めてください。 <input type="checkbox"/> その他の方も避難の準備を始めてください。	<input type="checkbox"/> 速やかに指定する避難場所に避難を始めてください。 <input type="checkbox"/> 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、指定する避難場所に避難するのではなく、近くの安全な場所や自宅内より安全な場所に避難してください。	<input type="checkbox"/> 避難していない人は、直ちに指定する避難場所に避難を始めてください。 <input type="checkbox"/> 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、指定する避難場所に避難するのではなく、近くの安全な場所や自宅内より安全な場所に避難してください。

必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。また、避難情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

## 避難場所（指定緊急避難場所・指定避難所・福祉避難所）

水害、土砂災害、地震などの災害から町民の身の安全を守る場所として、避難場所を指定しています。避難所一覧（10ページ）から避難場所を確認しておきましょう。

災害の発生が差し迫り避難が必要になった地域には、町から避難情報（避難準備・高齢者等避難開始など）が発令されます。

お知らせ方法は、テレビ、ラジオ、緊急速報メール（エリアメール）、町の広報車、電話・FAX、メール配信サービス（登録制メール）、消防団・警察・自主防災組織・近隣住民等による声掛けなど、災害の状況によってさまざまな方法でお知らせします。







指定緊急避難場所 (女満別 18箇所) (東藻琴 16箇所)	一時的に避難する場所 屋外の公園や学校のグラウンドなど、安全がある程度確保でき、緊急に避難していただく場所です。
指定避難所 (女満別 11箇所) (東藻琴 7箇所)	屋内で一定期間避難する場所 避難者を収容するための施設で、食料や物資が供給でき、一定期間避難（生活）する拠点となる場所です。
福祉避難所 (女満別 1箇所) (東藻琴 1箇所)	災害発生時に、避難所での生活において特に配慮を要する方（高齢者、障がい者などの「要配慮者」）を受け入れるための福祉避難所を指定しています。災害発生時に、福祉避難所を開設する場合には、指定施設に町が要請し、受け入れ可能な範囲で施設内に避難所を開設します。

## 非常持ち出し品の準備&チェック

災害が発生し、避難する場合はもちろん、避難の必要がない場合でも、電気や水道、ガスなどが使用できない場合もあります。万が一の場合に備えて、家族で話し合い、災害時の非常時持出品や備蓄品を準備しておきましょう。

### 非常時持出品(例)

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

<b>携帯ラジオ</b>  <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意)	<b>救急医療品</b>  <input type="checkbox"/> 持病薬 <input type="checkbox"/> 絆創膏 <input type="checkbox"/> 傷薬 <input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> 風邪薬 <input type="checkbox"/> 胃腸薬 <input type="checkbox"/> 鎮痛剤	<b>貴重品</b>  <input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 預金通帳 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 免許証 (出来れば一人にひとつ) <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意)	<b>懐中電灯</b>  <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意)
<b>非常食品</b> <b>火を通さずに食べられるもの、食器など</b>  <input type="checkbox"/> カンパン <input type="checkbox"/> 非常用食品 <input type="checkbox"/> 缶切り <input type="checkbox"/> 紙皿 <input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> ミネラルウォーター <input type="checkbox"/> 栓抜き <input type="checkbox"/> 紙コップ	<b>その他</b>  <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> ラップフィルム (止血や食器にかぶせて使う) <input type="checkbox"/> 防寒具(時季による) <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 粉ミルク <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 離乳食 <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 防災マップ(本書)		

### 非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック✓しましょう。

<b>飲料水</b>  <input type="checkbox"/> 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に) <input type="checkbox"/> 貯水したポリタンクなど	<b>非常食品</b>  <input type="checkbox"/> お米(アルファ米も便利) <input type="checkbox"/> 缶詰・レトルト食品 <input type="checkbox"/> 梅干し・調味料など <input type="checkbox"/> ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)
<b>燃料</b>  <input type="checkbox"/> 卓上コンロ <input type="checkbox"/> ガスボンベ <input type="checkbox"/> 固形燃料	<b>その他</b>  <input type="checkbox"/> 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水) <input type="checkbox"/> 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど <input type="checkbox"/> 調理器具(なべ・やかんなど) <input type="checkbox"/> バケツ・各種アウトドア用品など

## 非常時持出品は定期的に点検を!

- ・備蓄品は、いざ使用するとき支障のないように、定期的に点検しておきましょう。(飲料水や非常食品などの賞味期限、薬品や電池などの使用期限を確認しましょう)
- ・日常的に一定の食料等を備蓄しておき、賞味期限がせまったものから、日常生活で消費(食べる)して、消費した分を買い足す方法を取りましょう。(日常的に備蓄と消費を繰り返すことで、備蓄品の鮮度を保ちます)